

OLYMPUS Investor Day 2018
財務戦略

2018年9月5日
オリンパス株式会社
取締役副社長執行役員 CFO
竹内 康雄

- 本資料のうち、業績見通し等は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が目標と大きく異なる結果となる可能性があります。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

財務戦略の振り返り – 2018年3月末の進捗（見通し） –

重点項目	取組み	進捗状況
■ <u>収益性（純利益）の向上</u>	財務体質強化	✓ 有利子負債圧縮を進め、近々に自己資本比率50%を確保する見込み
	格付け向上	✓ A格を回復、16CSP期間中に2ノッチの格上げ（R&I）
	資金調達手段の多様化	✓ 調達コストの低減（公募社債）
■ <u>資産効率性の向上</u>	固定資産の圧縮	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 政策保有株の適切なコントロール ✓ バランスシートのスリム化促進（米国のリース料債権売却、グローバルに固定資産を整理・売却）
■ <u>財務レバレッジのコントロール</u>	株主還元向上	✓ 配当金額を段階的に引き上げ、総還元性向30%達成を見込む

16CSPに沿って、財務戦略は順調に進捗

経営目標

		2018年3月期 (実績)	経営目標
ROE	資本効率性	14%	15%
営業利益率	事業収益性	10.3%	15%
自己資本比率	健全性	45%	50%
EBITDA	事業成長性	+7% (1,339億円)	2桁成長

■ ROE15%の達成に向けて取り組みを継続

- ✓ 政策保有株式の売却や有利子負債の圧縮などを進めており、自己資本比率は達成予定
- ✓ 営業利益率は道半ばだが、引き続き目標水準を目指し、総還元性向30%も予定通り確保する
- ✓ **課題の事業成長性は、成長スピードの加速に向けた投資を財務面でサポート（財務基盤・多様な資金調達等）**

OLYMPUS
